

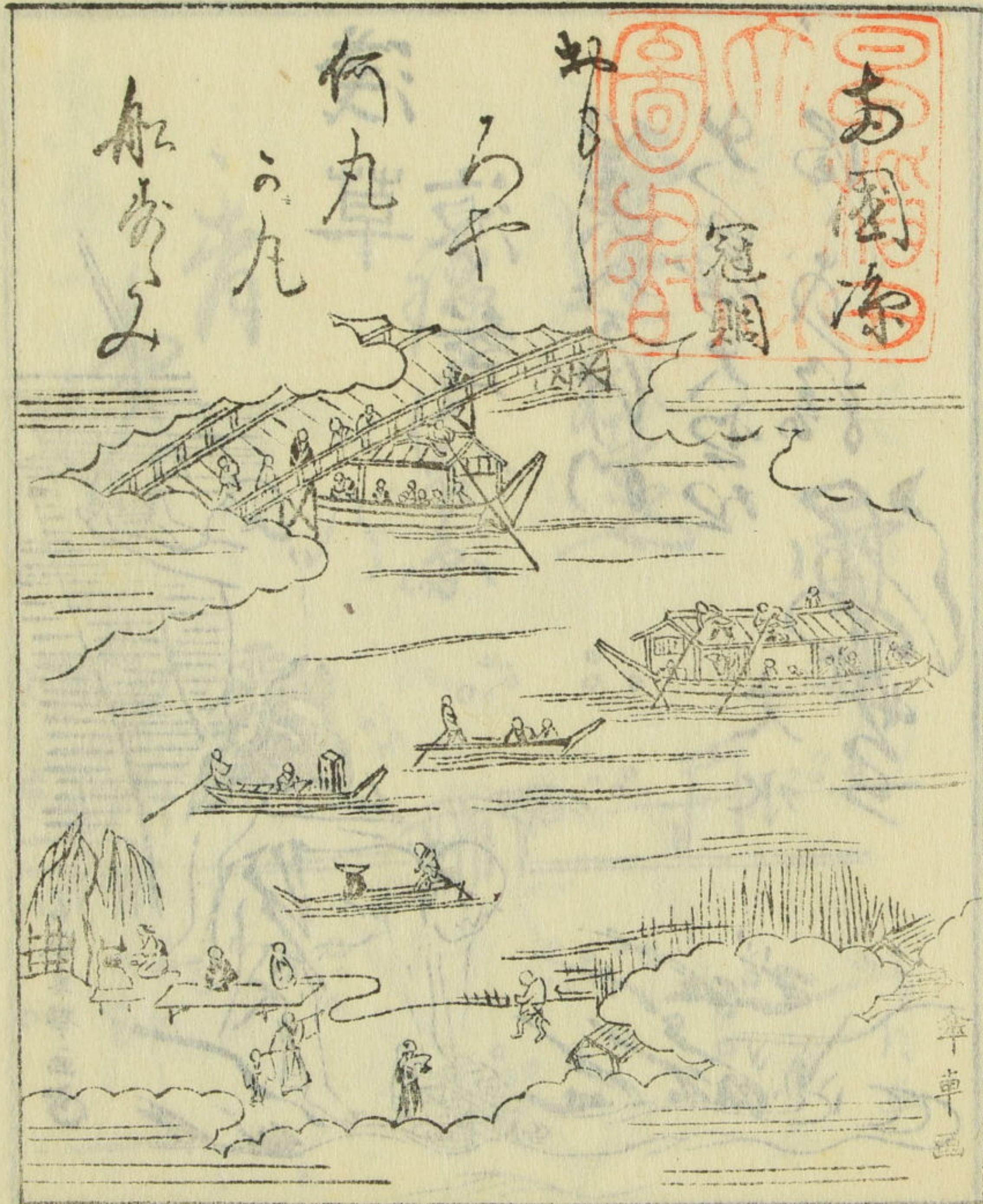


新編 萬世正統  
中

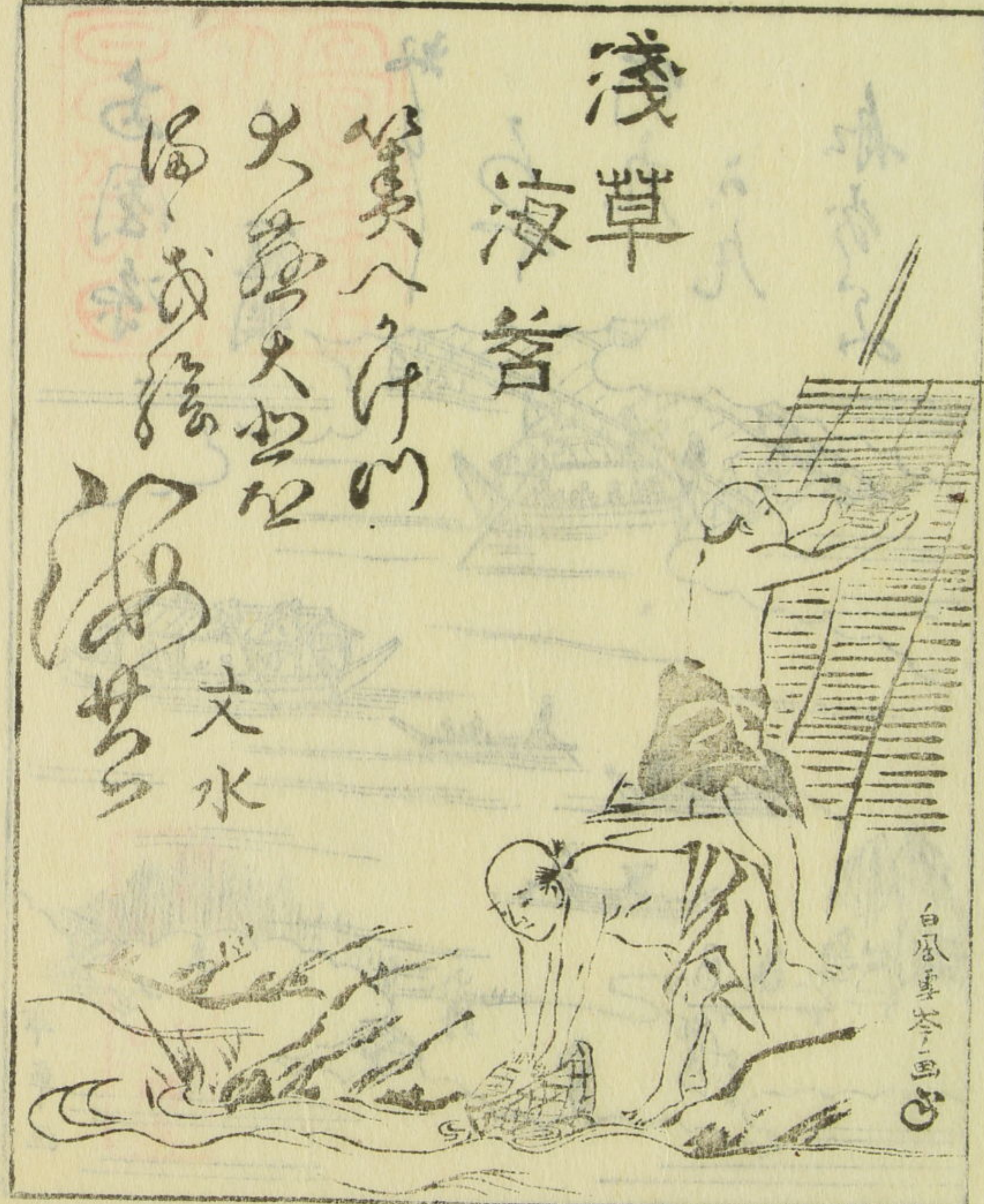
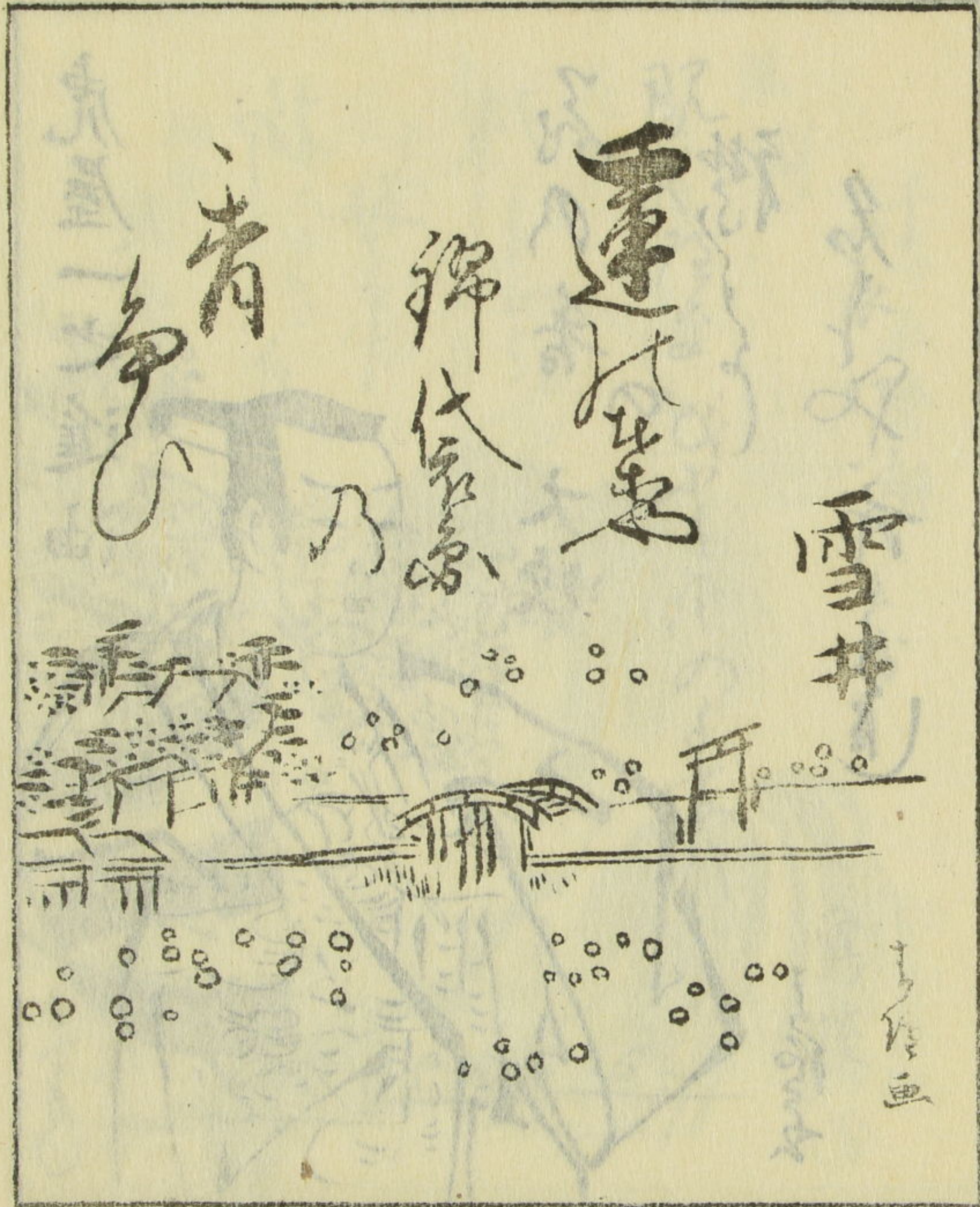
5  
4464  
2



門 へ 5  
 4464  
 卷 2



昭和九年  
 十月八日  
 購求



虎屋一之進油

花の香の大紋

襦袢

名は市川



一之進

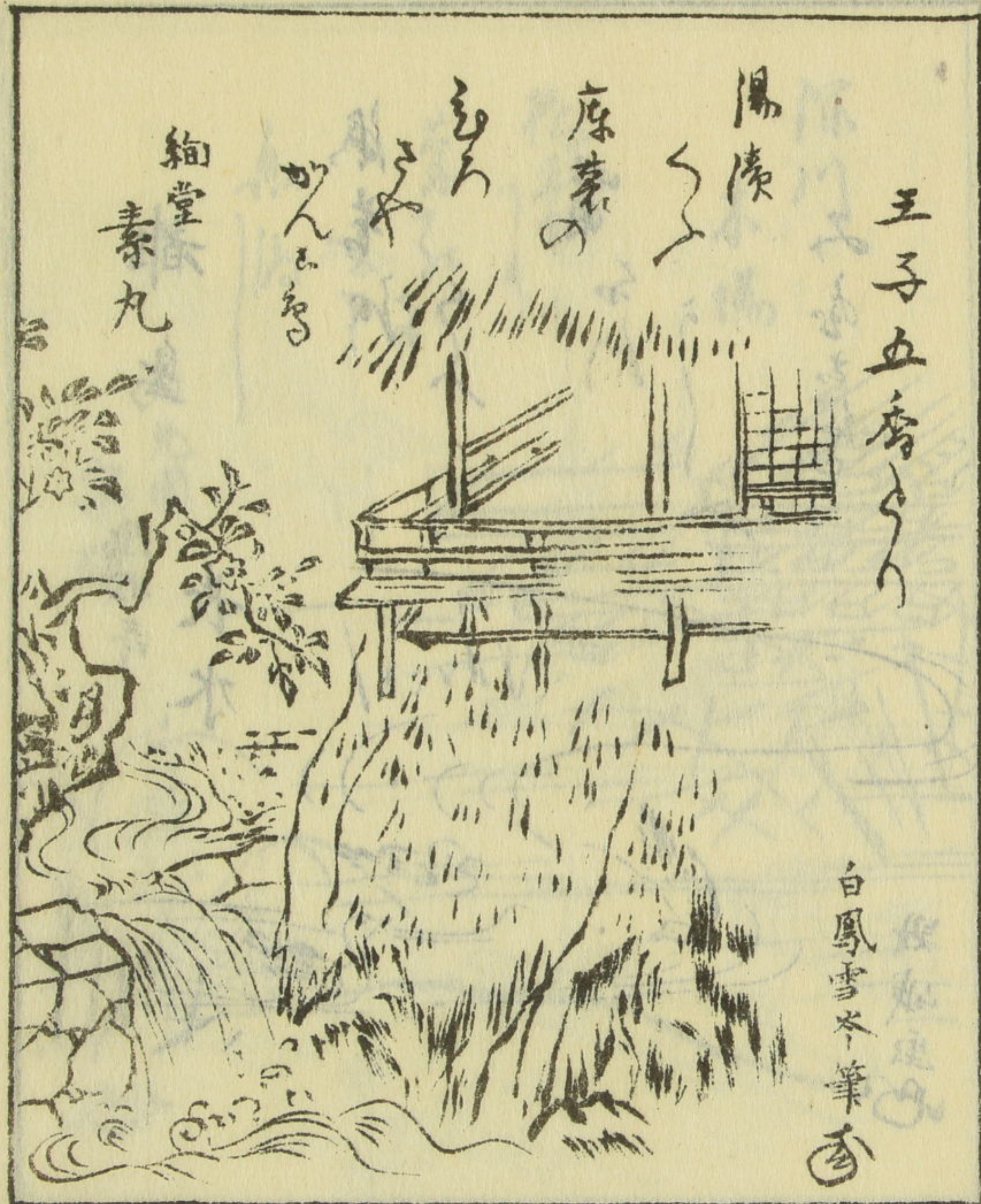
村原如部公清

眠くたよむやまのまき

寫像



音



王子五香らん

湯漬

原菜の

らん

らん

らん

絢堂

素丸

白鳳雪芥筆



大久保五水景子

柳

世

珠

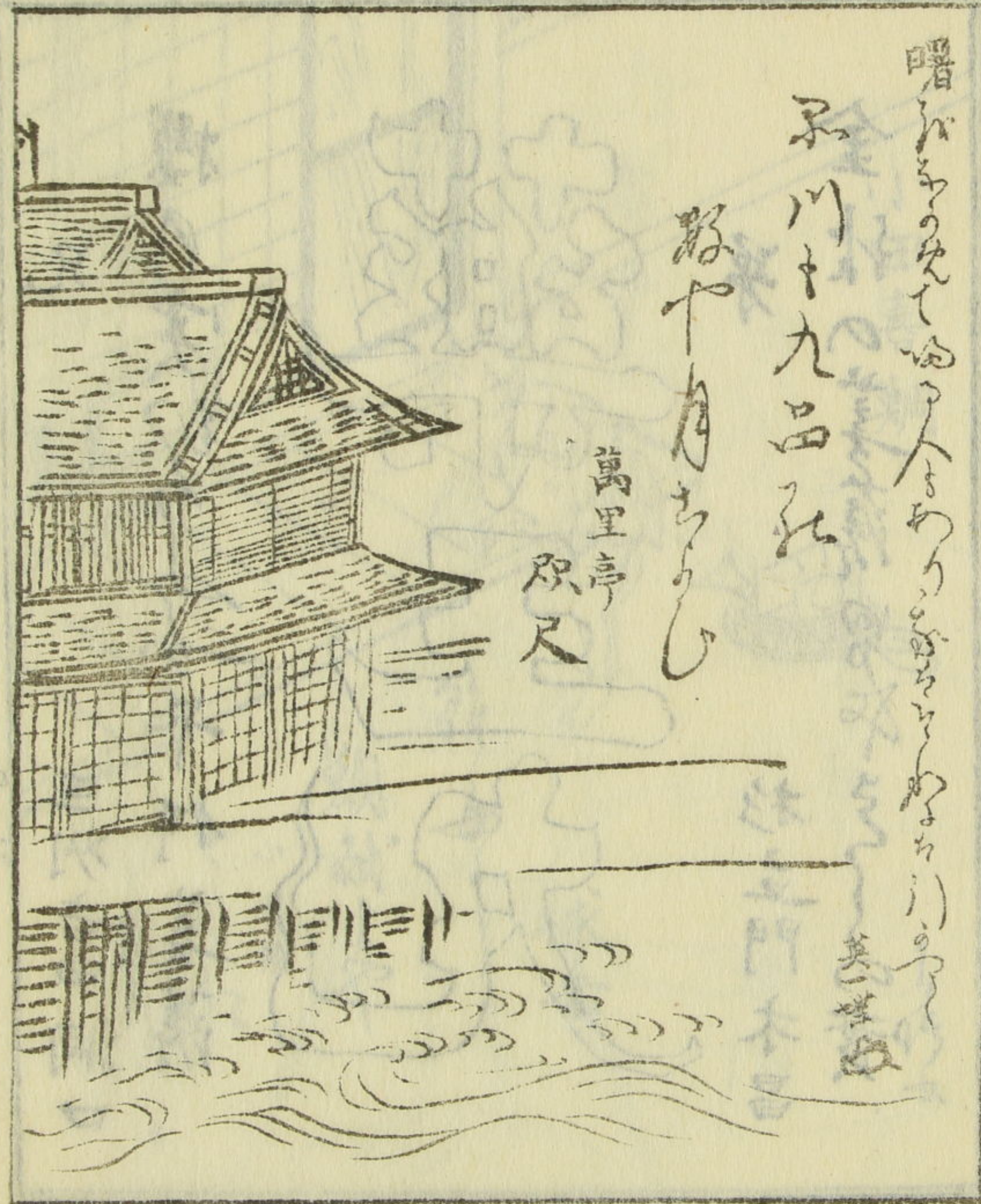
糸子の

河

太 架郷

白鳳雪芥筆





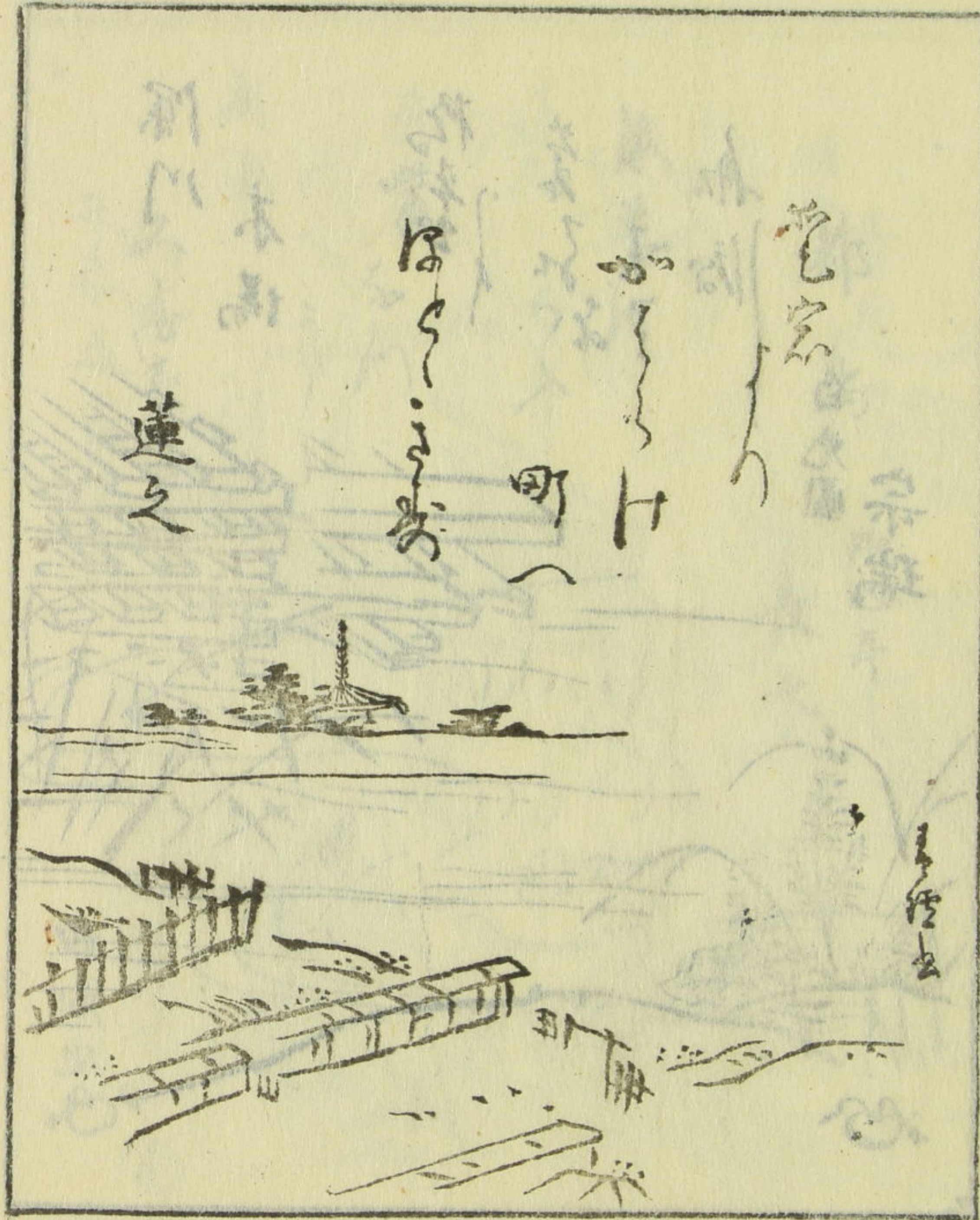
曙の光を待つ人ありてはさかたにわかれし

不川十九品

殿や月あらし

萬里亭  
殿尺

英華



覚宗

かき

町

ほろ

蓮之

口

長



小田喜朝

球香

朝成寺

小田幾

傳母

六

兄

櫻の實印うしや平何暮薩

三洲吉田洞口

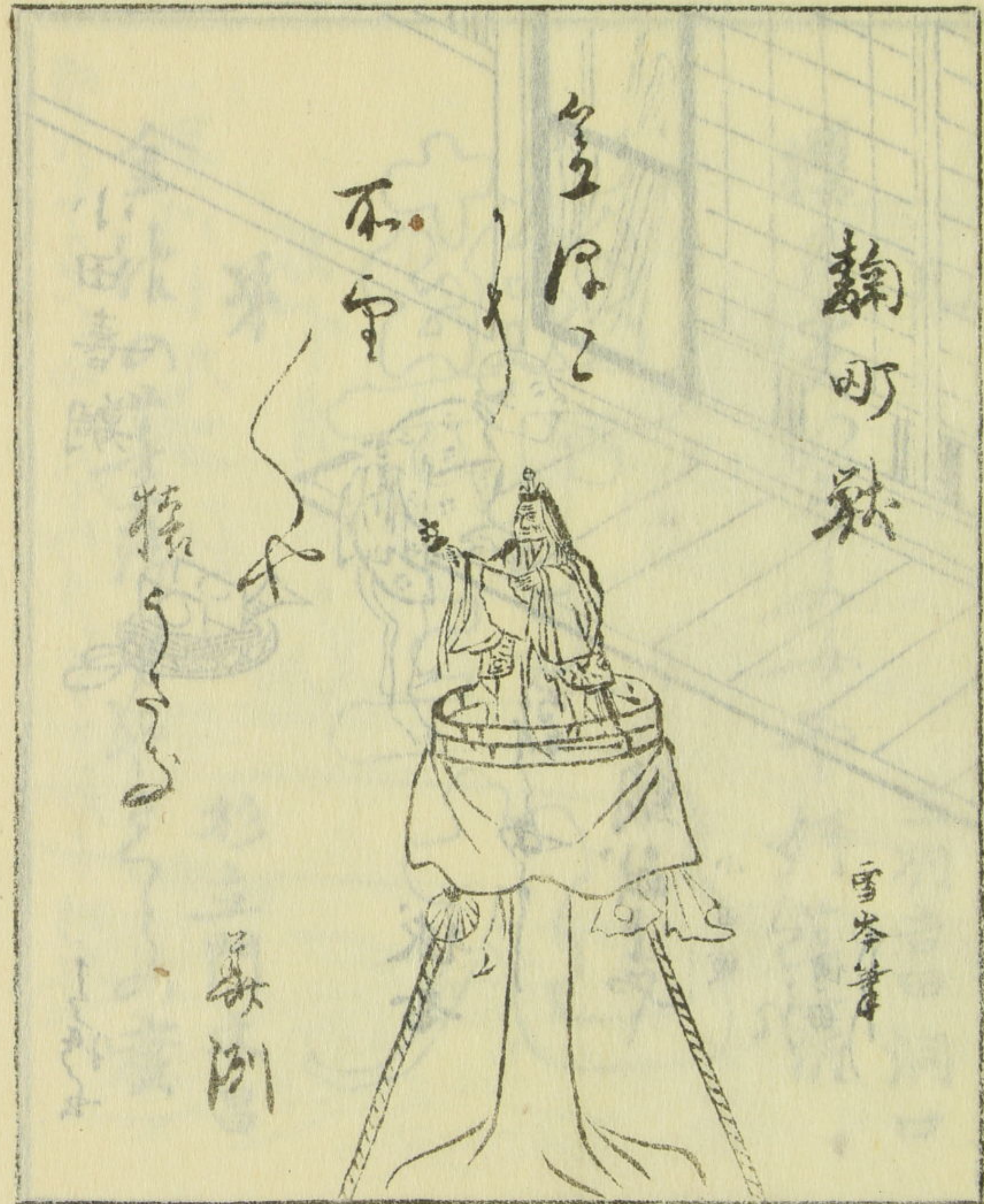
弟

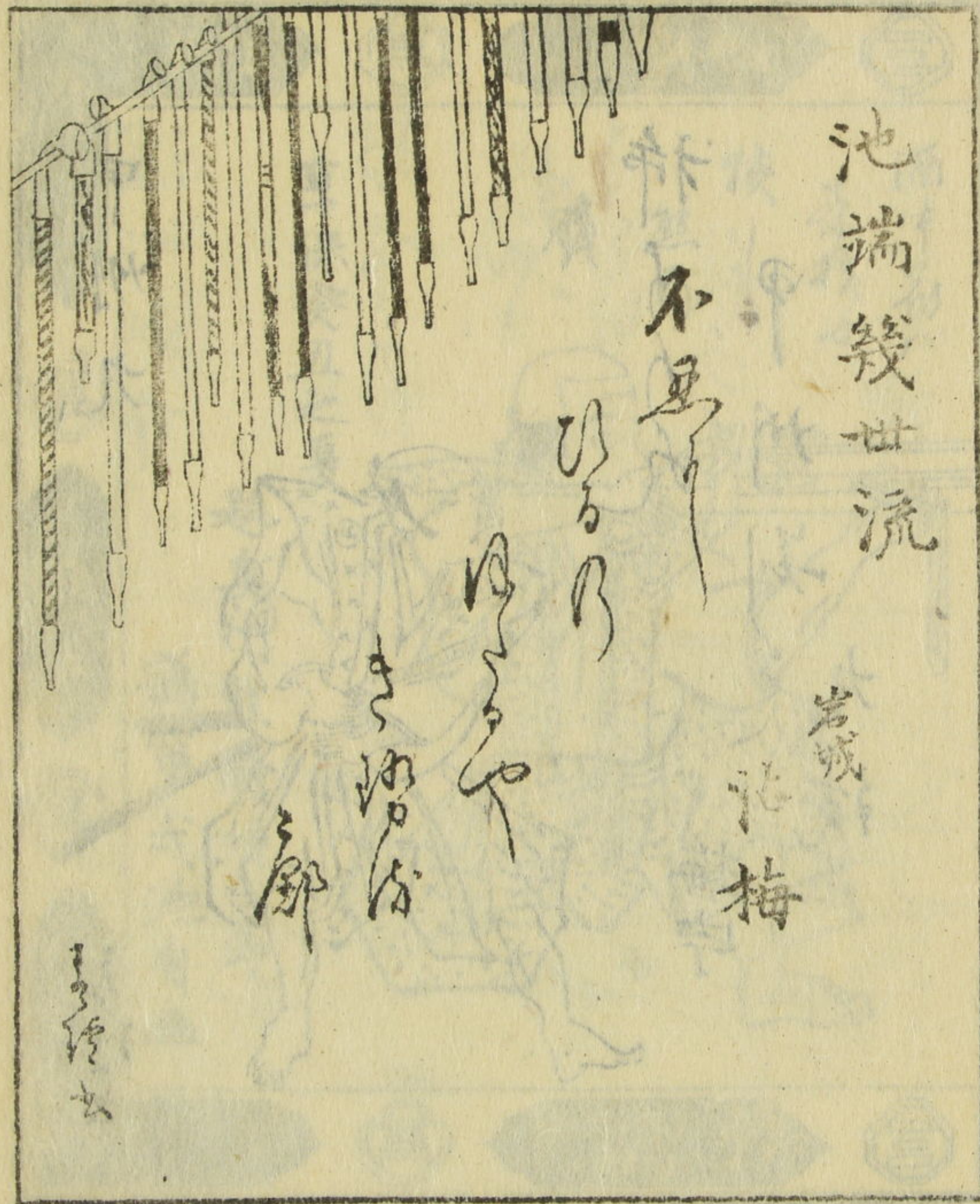
金津の暮落男やまの實

杉立門木昌

# 齋下玉丸









酒中初八

弟孫小

狭

然乃

廣

享保癸丑之夏

題奥州熊膽傳三郎

鶴帘式池自画

甲州丸

柿丸

甲州別丸

丸鏡

梅宇



甲丸

三鏡



戸店屋物屋

見と梳と

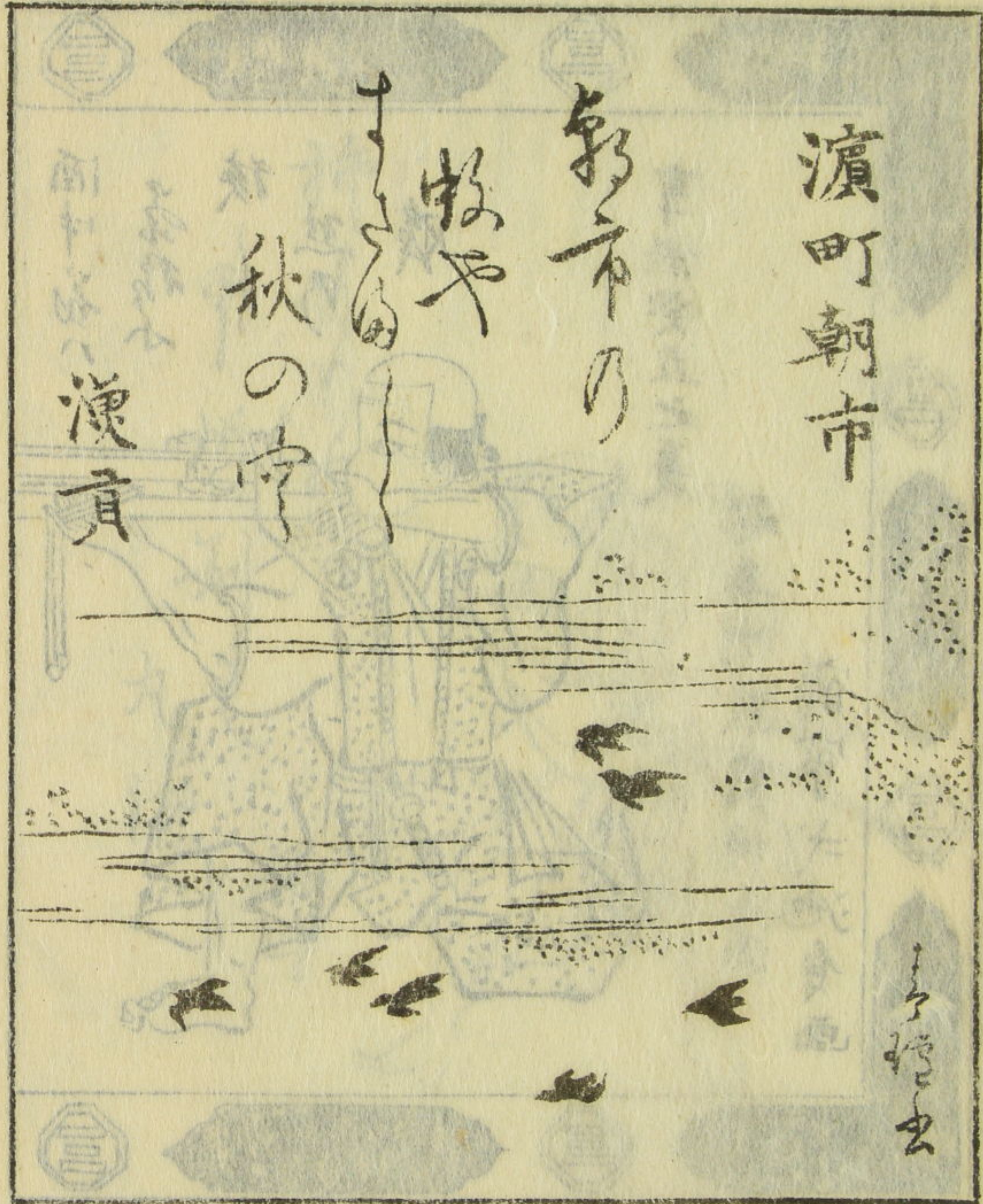
ことく

水鶴子

北越平保

立儿

白鳳新馬子



濱町朝市

朝市の

朝市

秋の市

漢貢

白鳳新馬子

題品川海苔

明

の

東海寺

第

海上  
禪林

二

葛飾念仏

秋

物

花

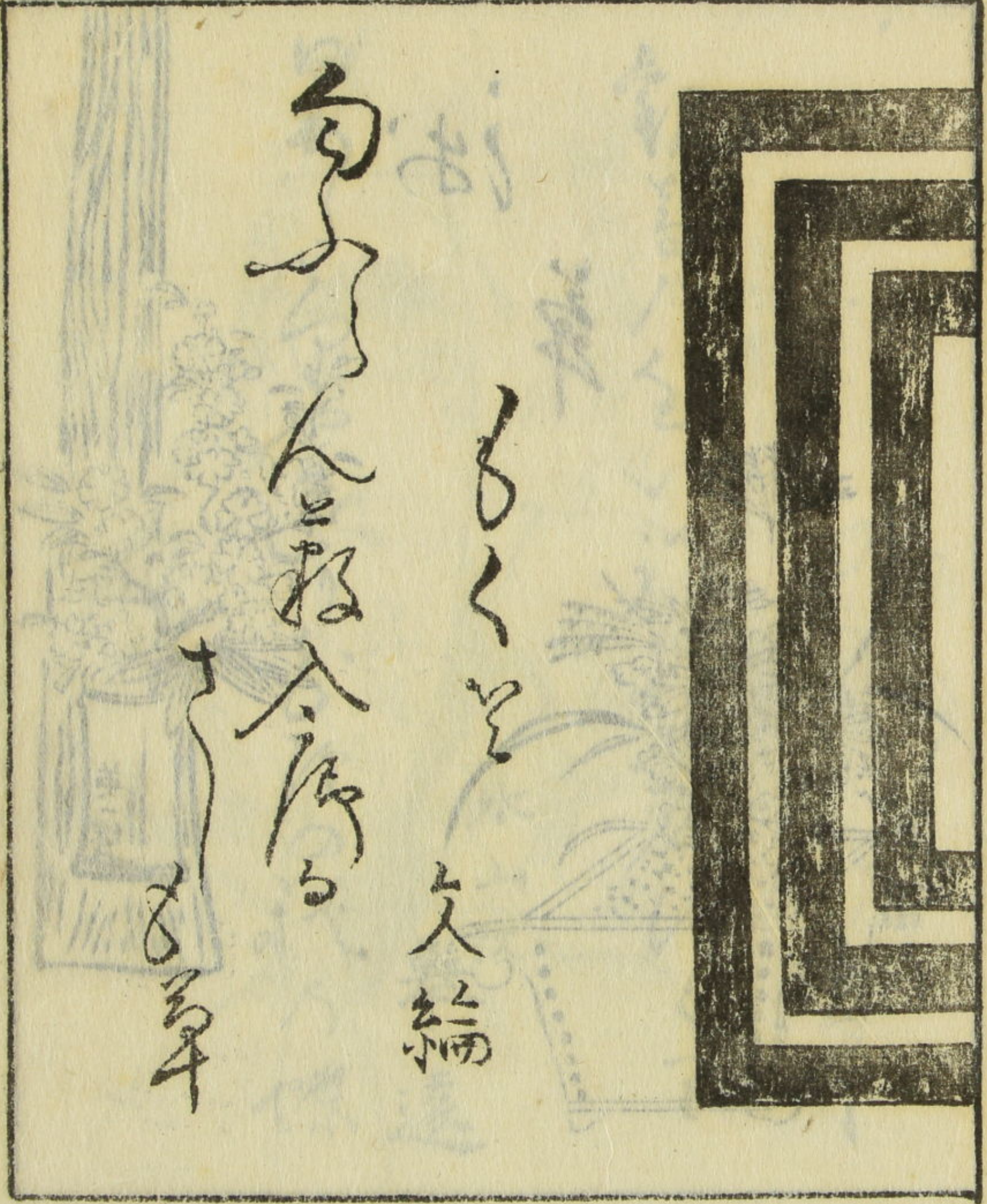
か

振

龍舎  
函  
越  
自  
虫

只





流

草



中十三

神田

樓川

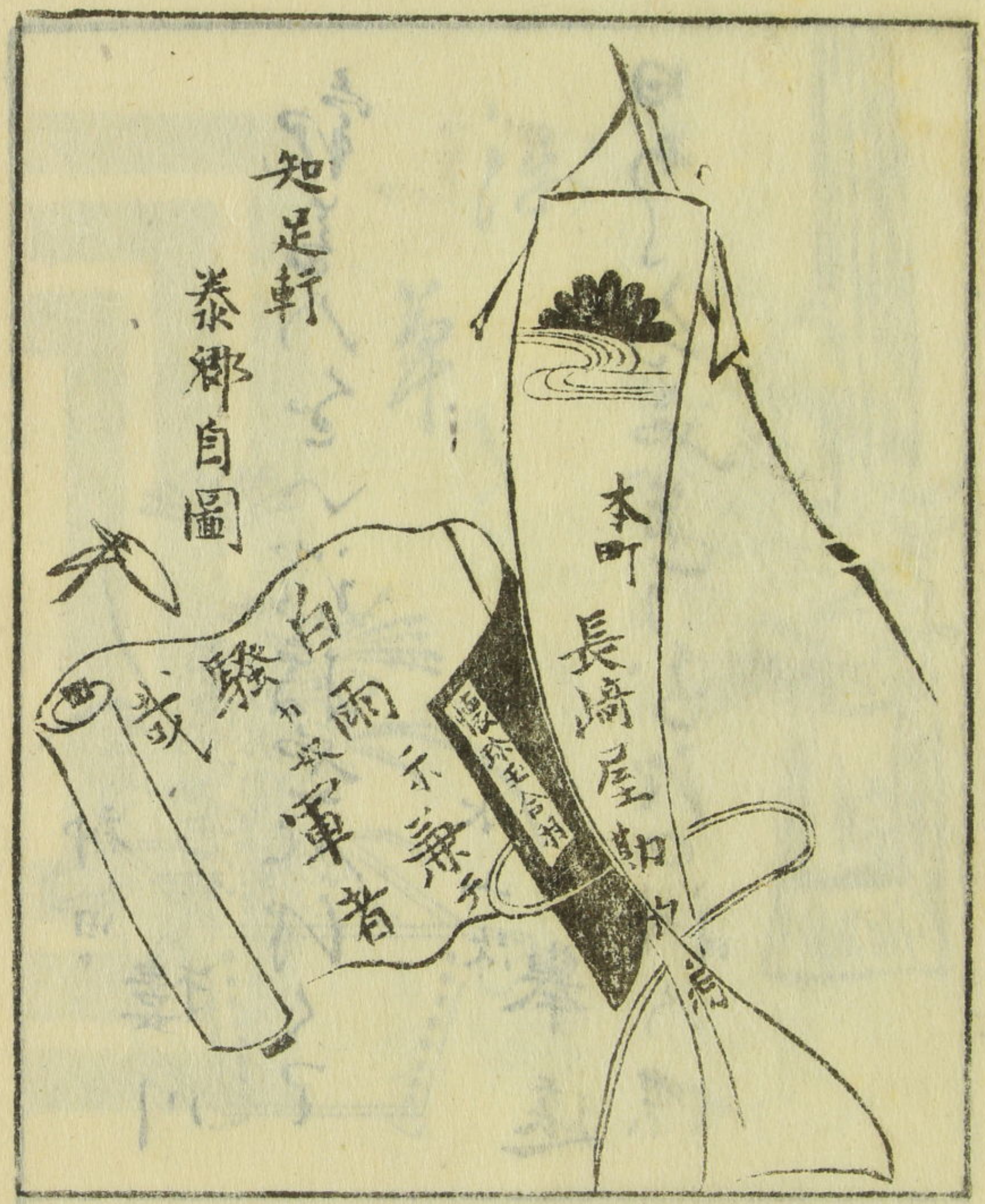
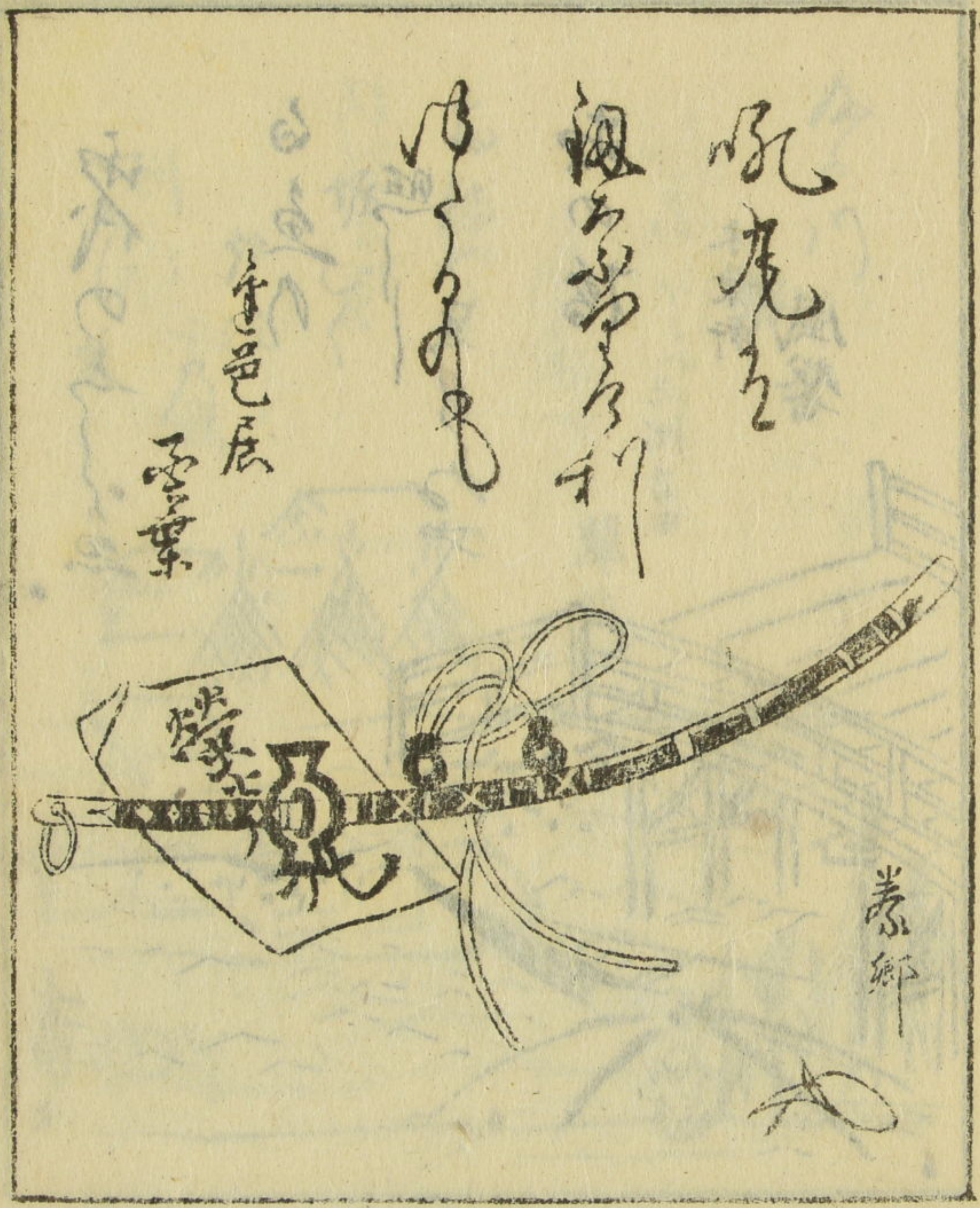
観鳥八をい流播如花付く了

氷山故

舉遠

日あしりや若りふ流の秋人標

中十四



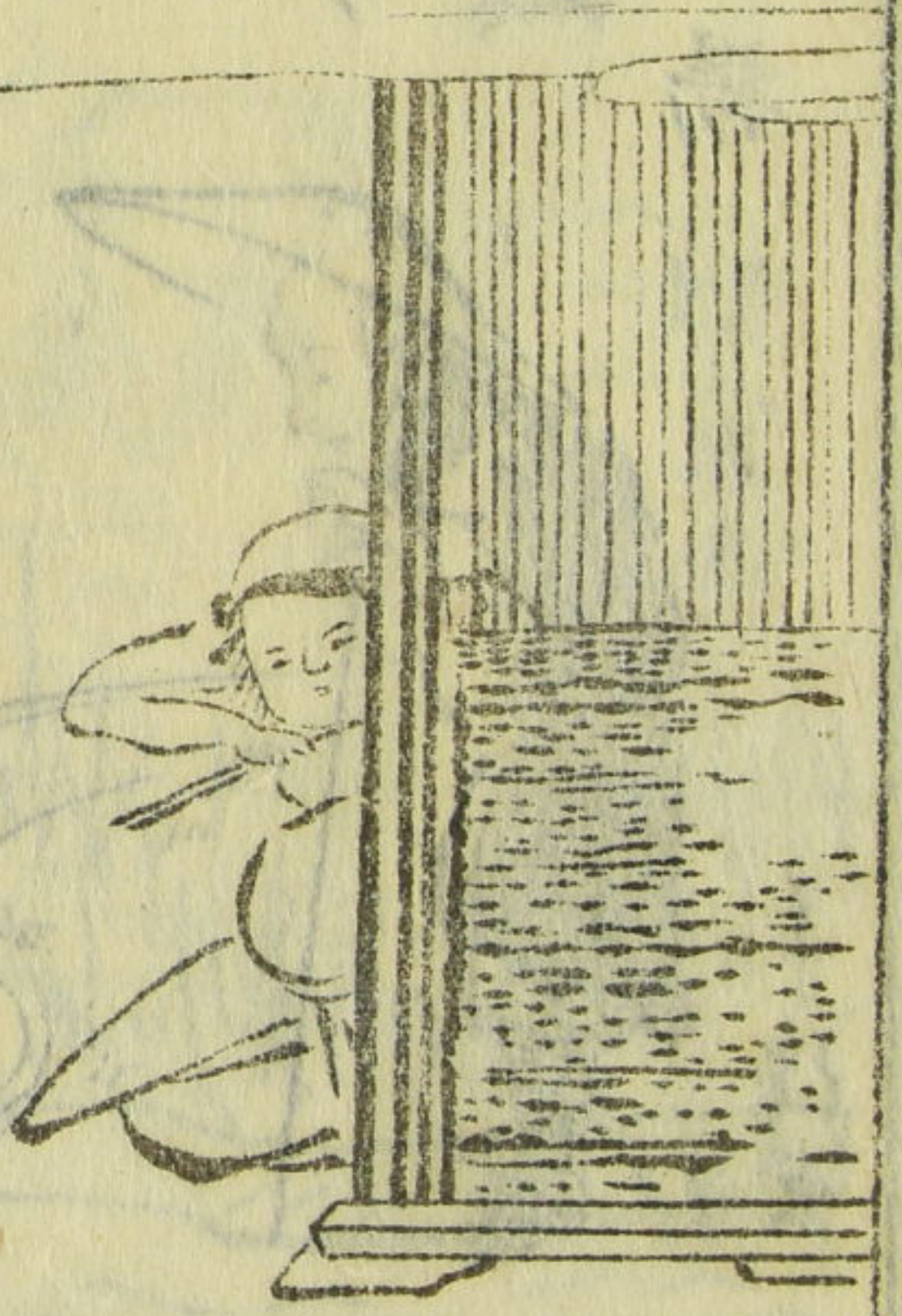






橫山町

光産殿



山元財城學楠画

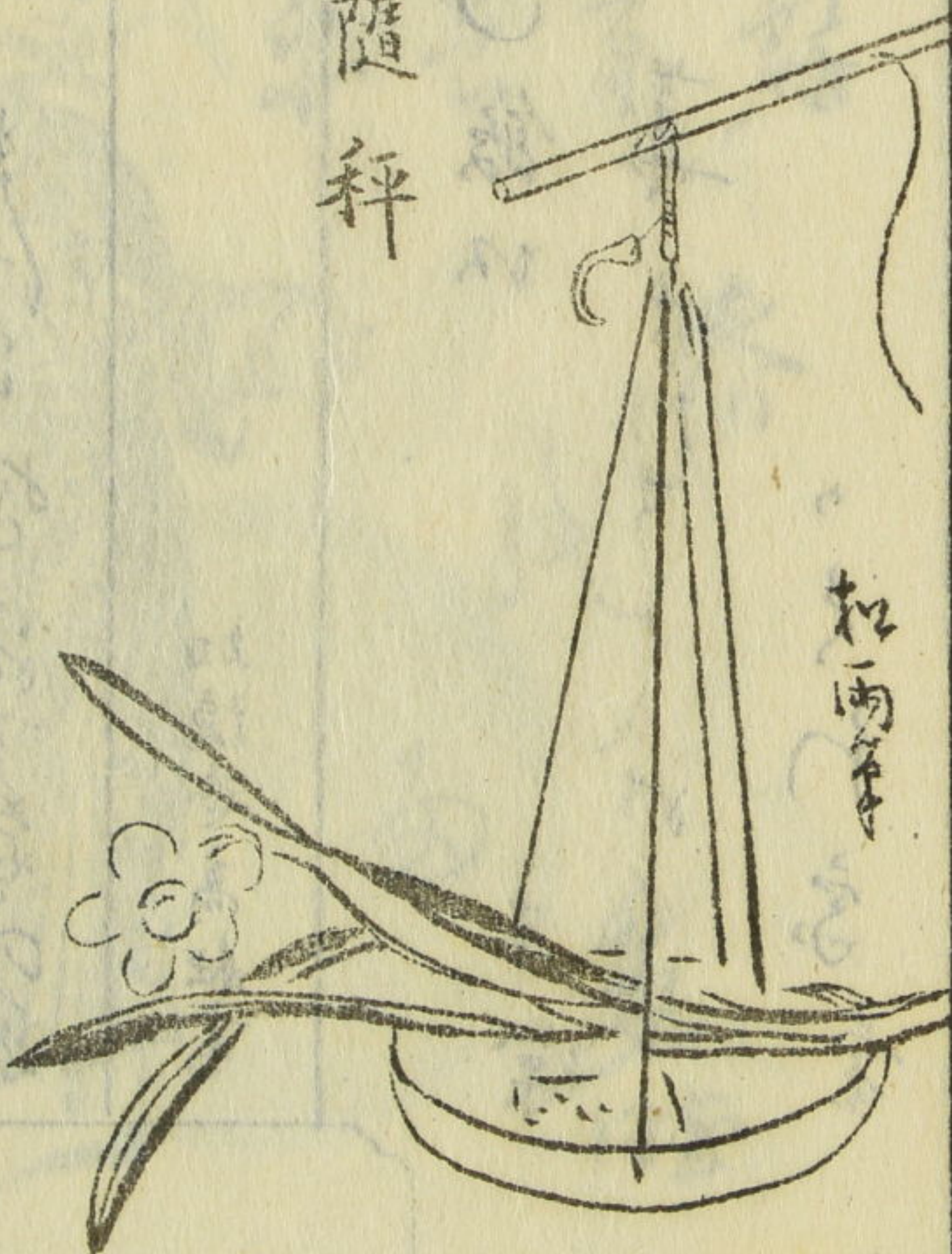
繪少十

何の片もなし

山元財城學楠画

來繁

守隨秤



和兩秤

水心乃

壹片紙と秤

秤の如

来鶴



長  
の  
名

也  
亦  
也  
也  
也  
也  
也  
也

春

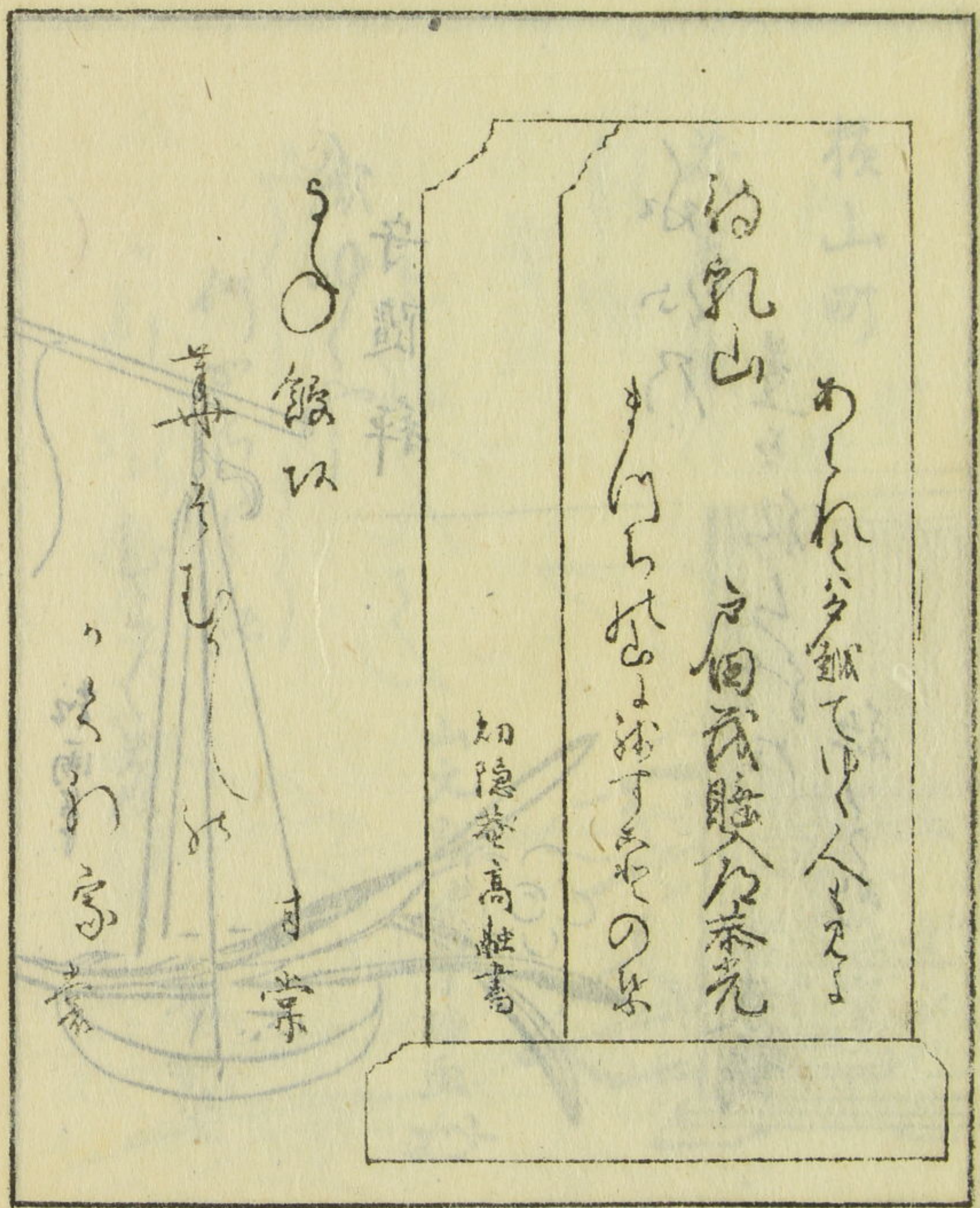
秋

夏

冬

山田

山田



船

舟

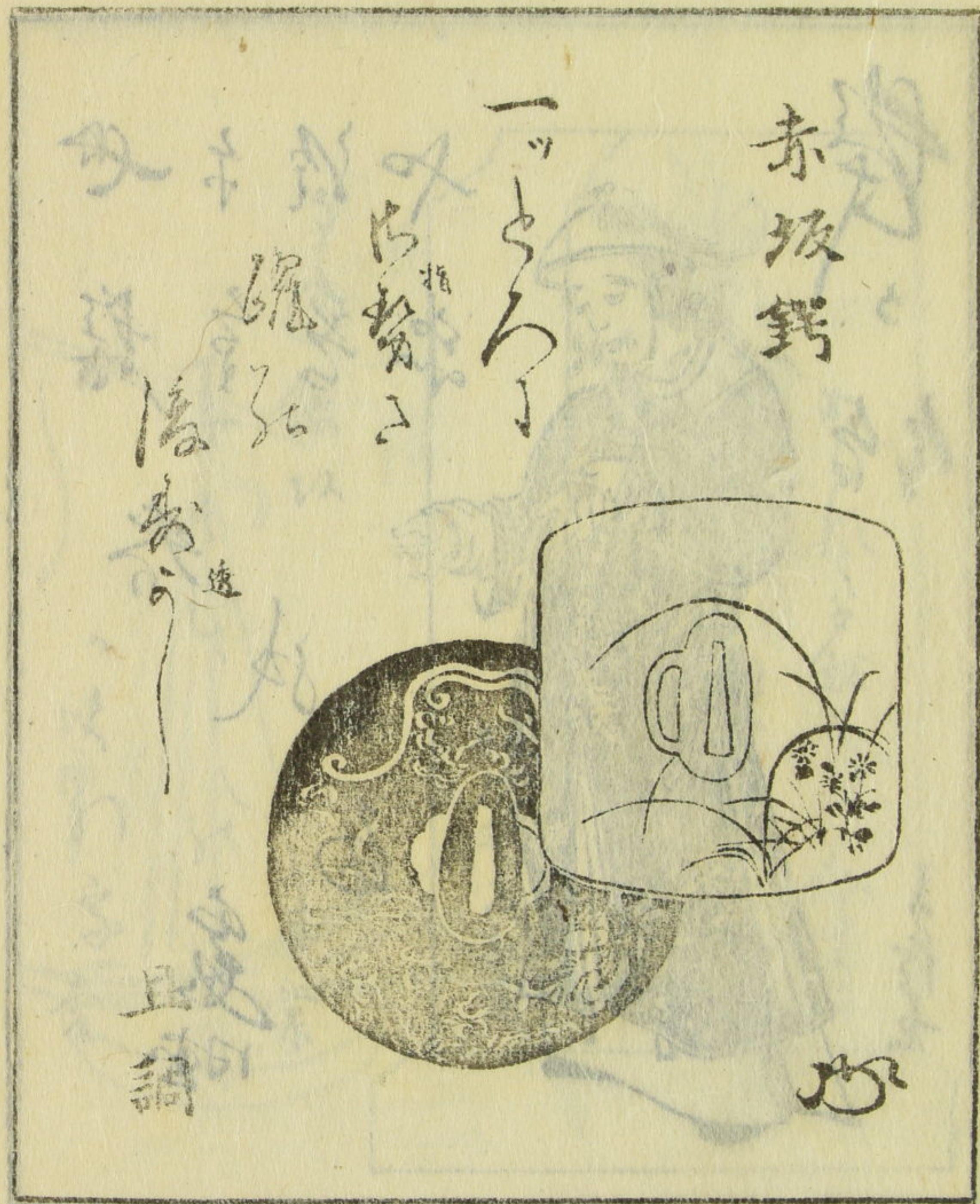
舟

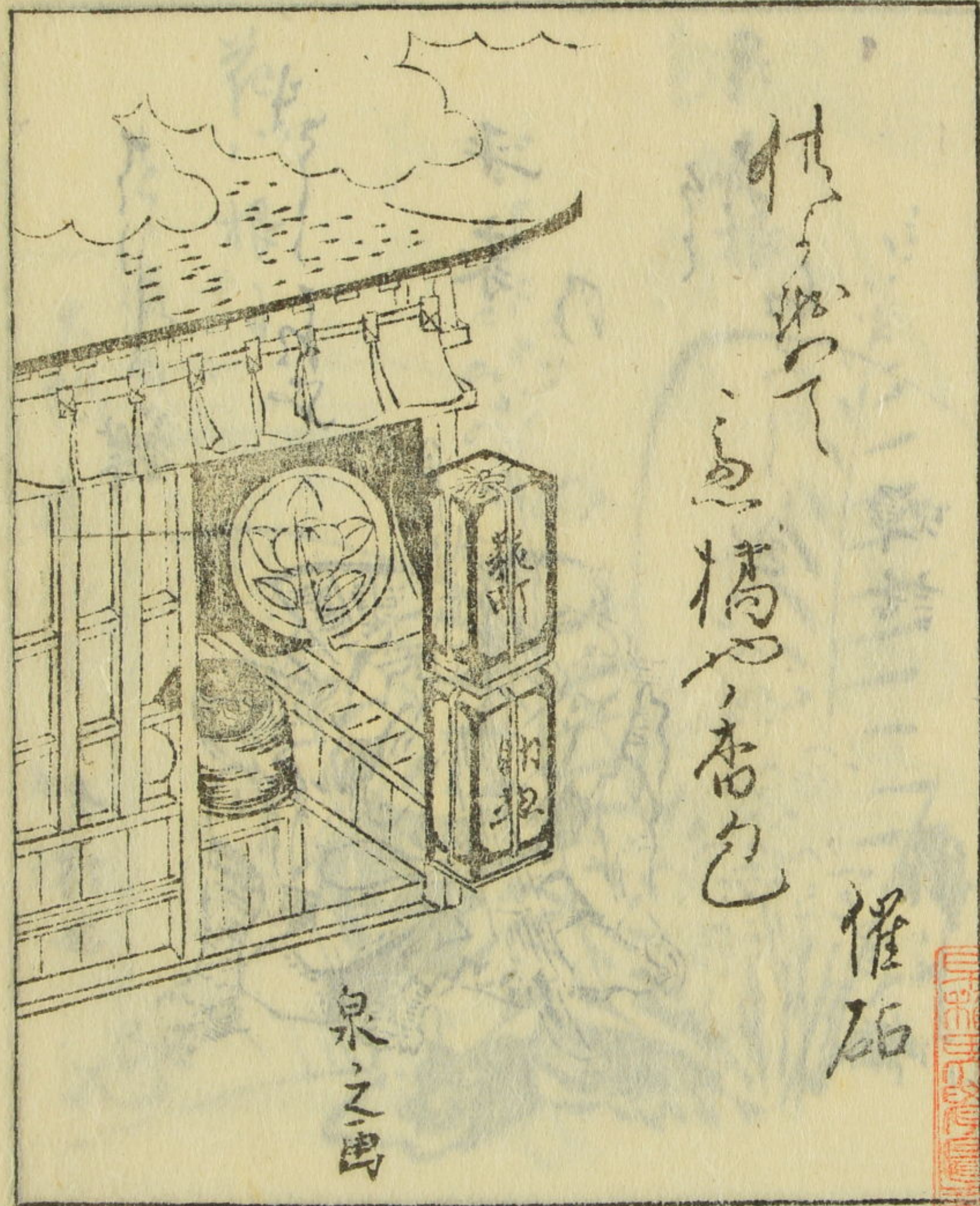
舟

の  
乳  
山  
の  
向  
我  
船  
の  
茶  
光  
の  
舟  
の  
舟  
の  
舟

知徳高船書

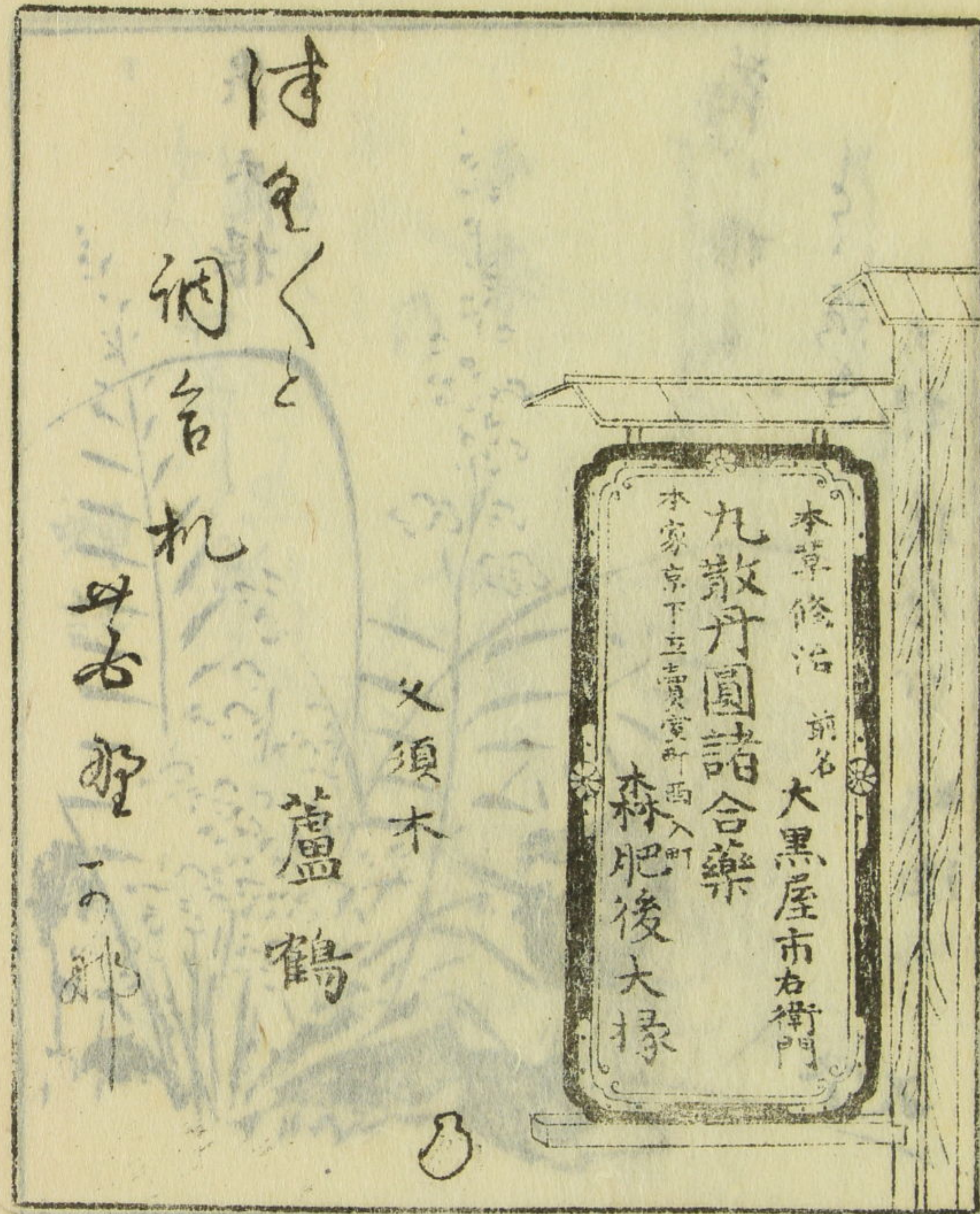
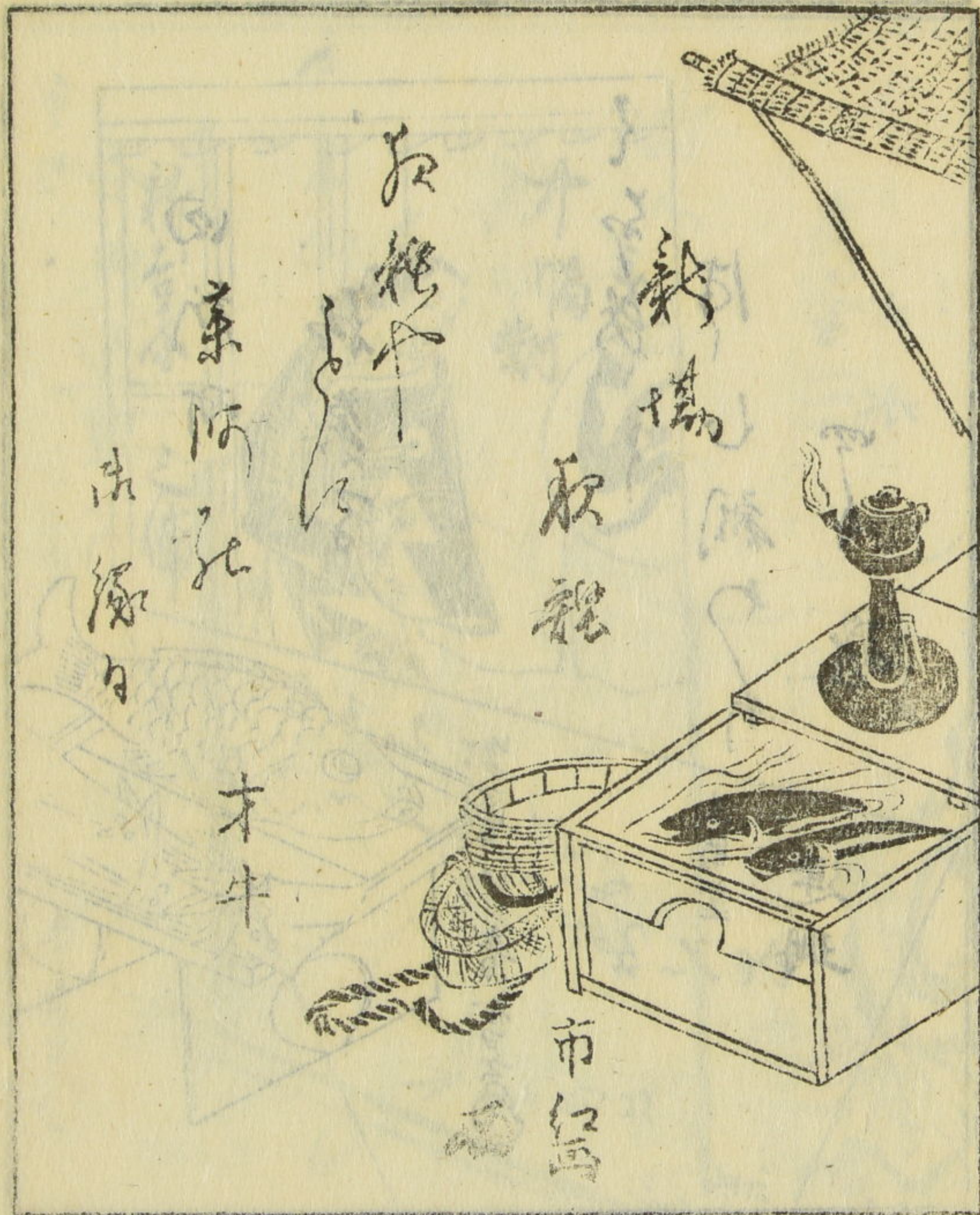
山田



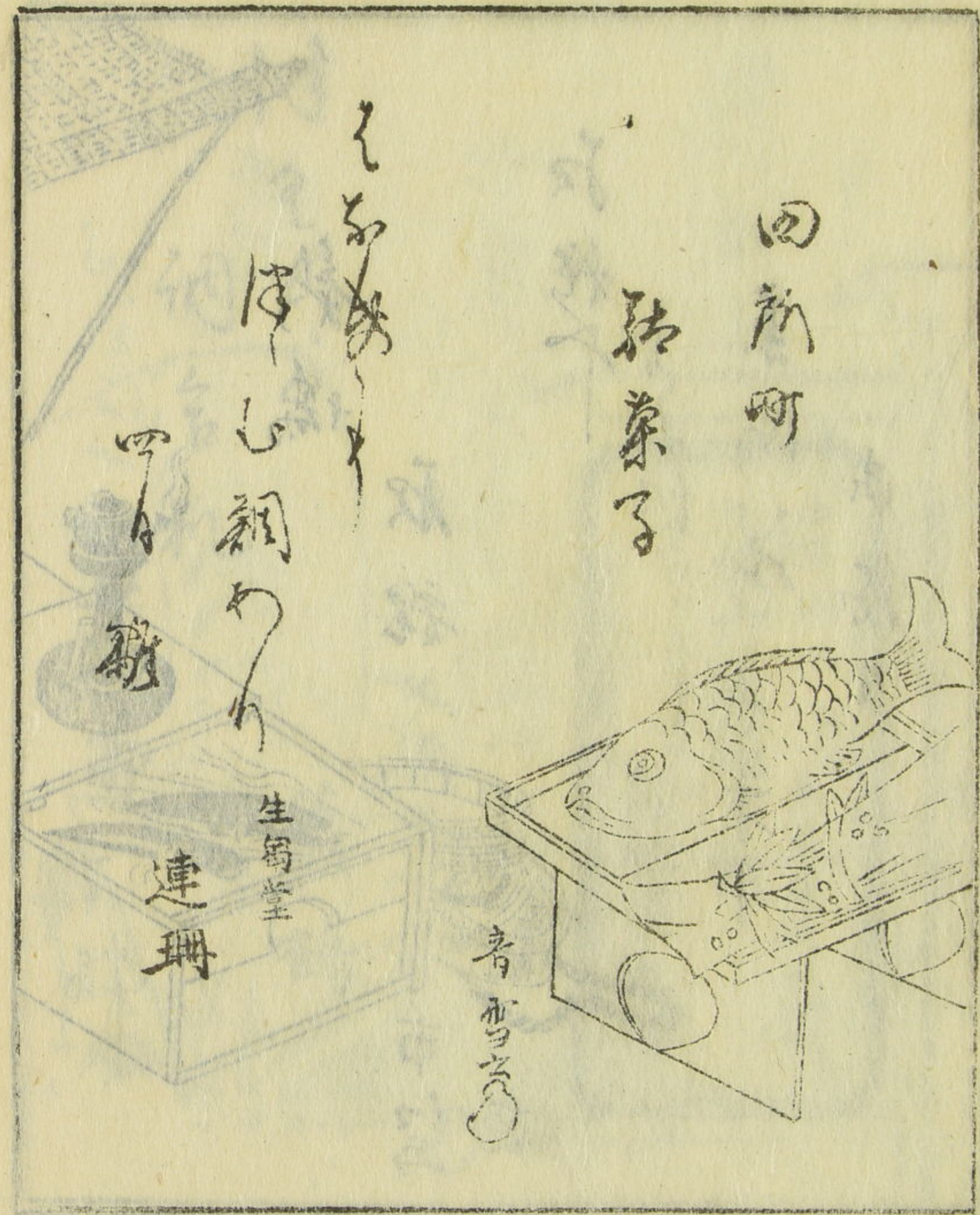


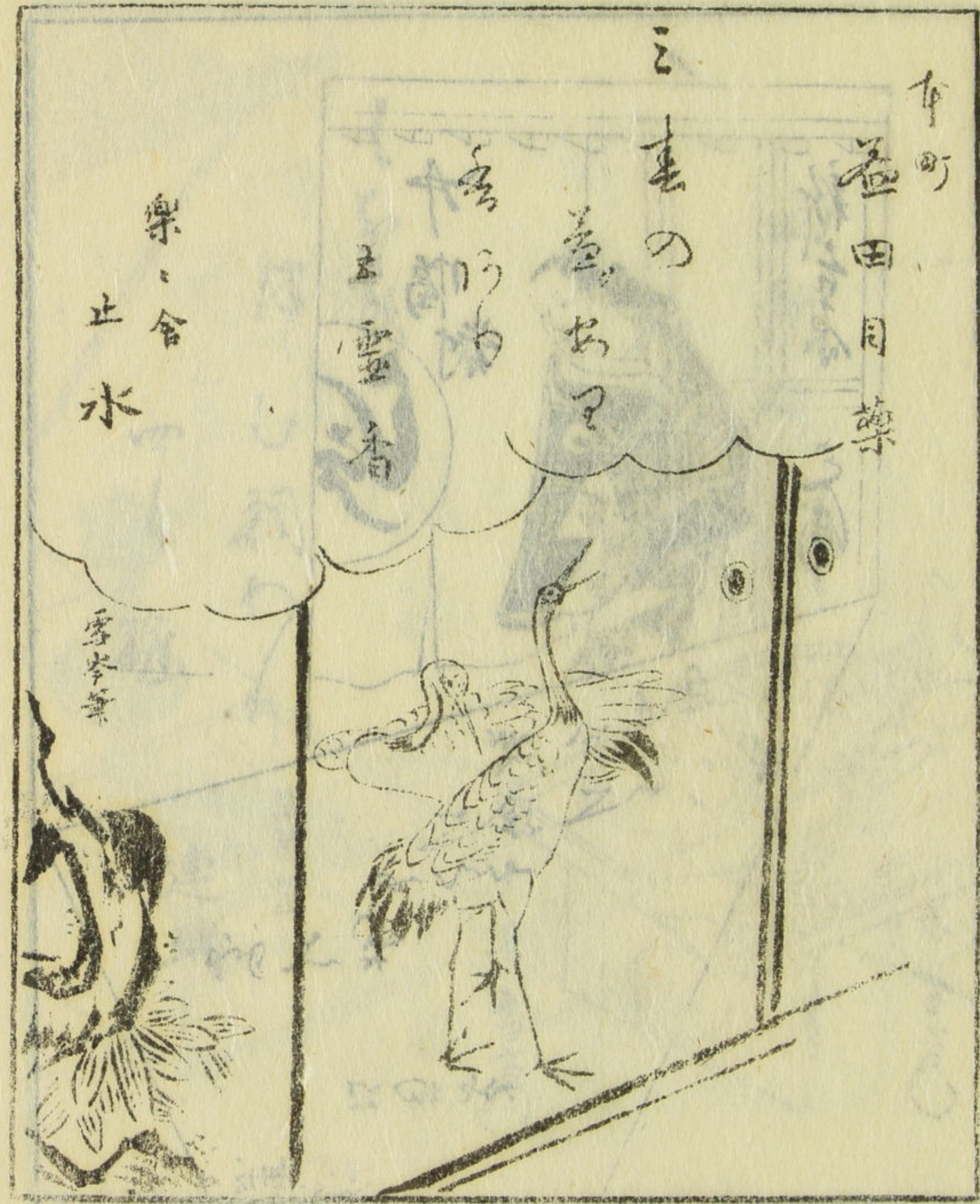
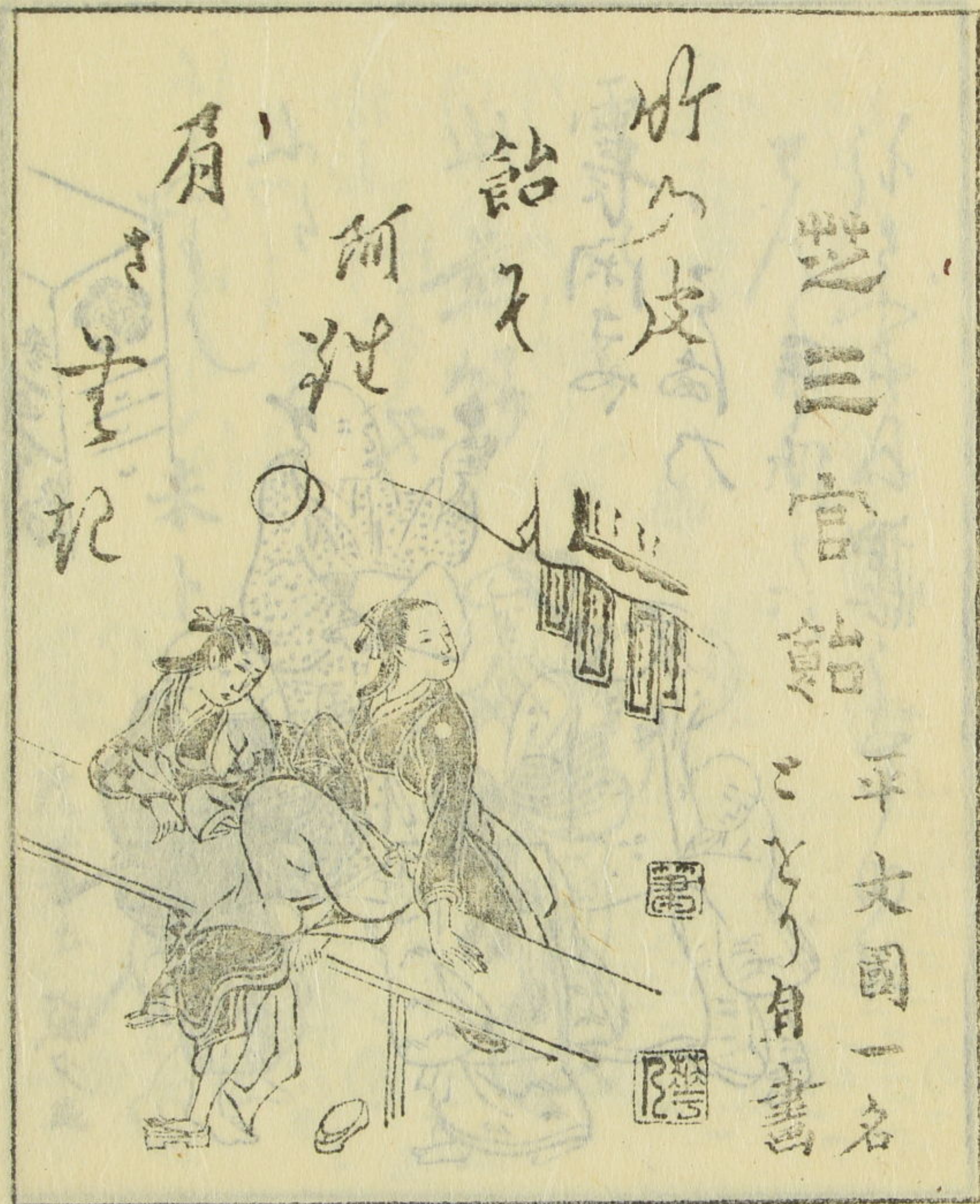
中





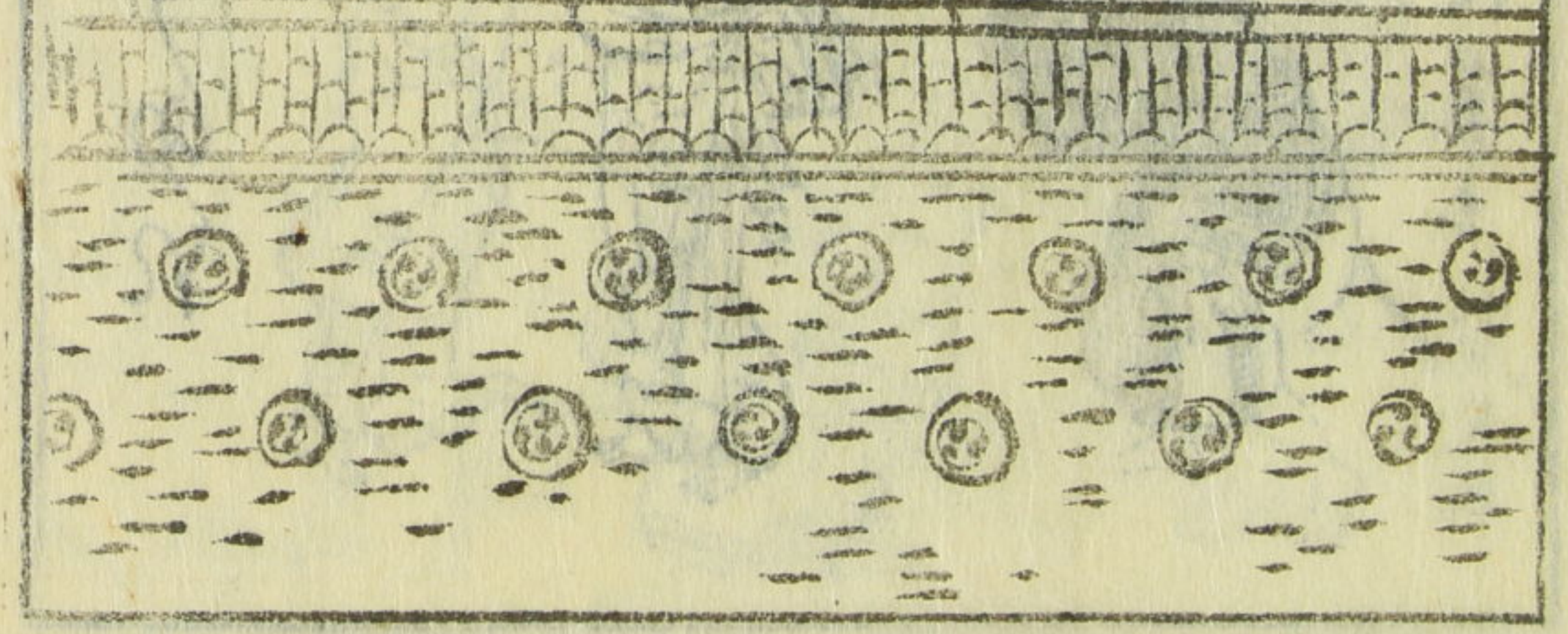








弥生の中り八日  
 近々より暮れ  
 持おのし  
 浅き草の  
 白おのし  
 浅草のこのひら  
 遊誠舎  
 注意  
 福早のひら  
 葉市也



海原藤兵衛

小車

を

織

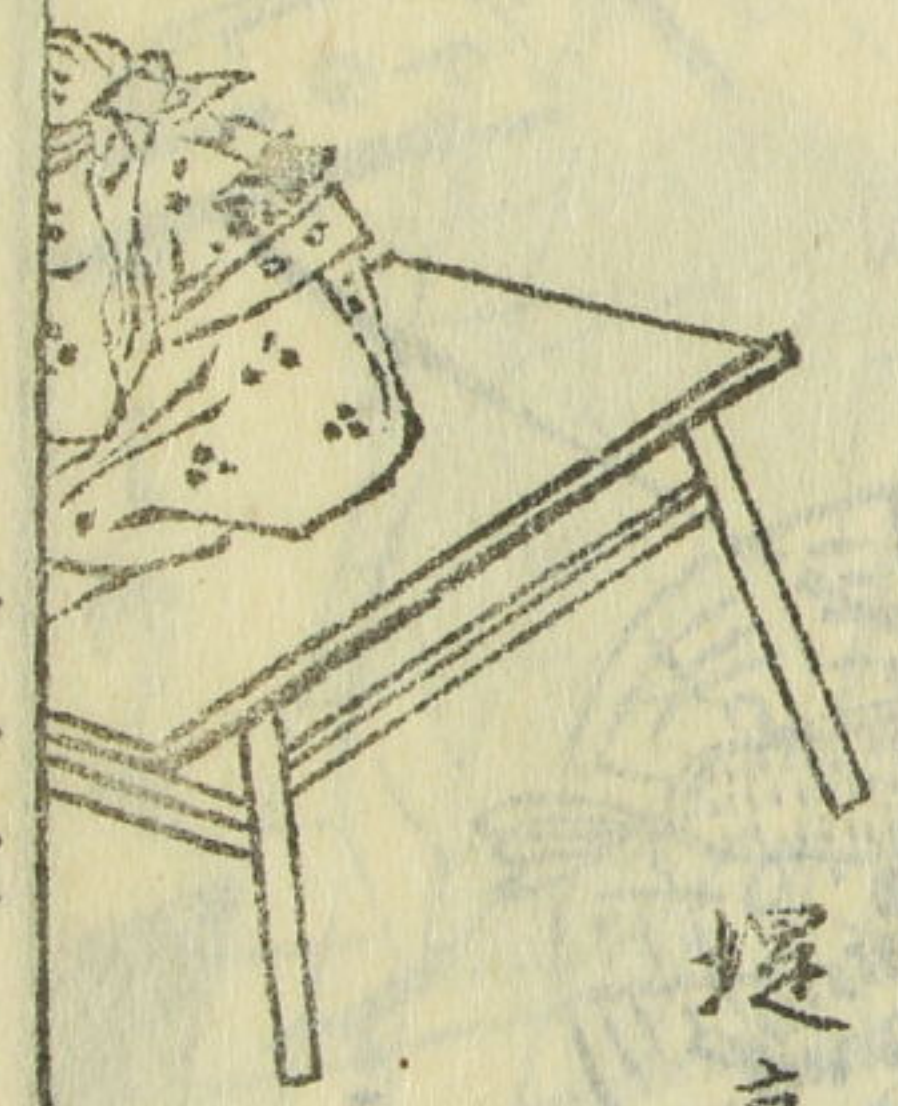
る

卦

此

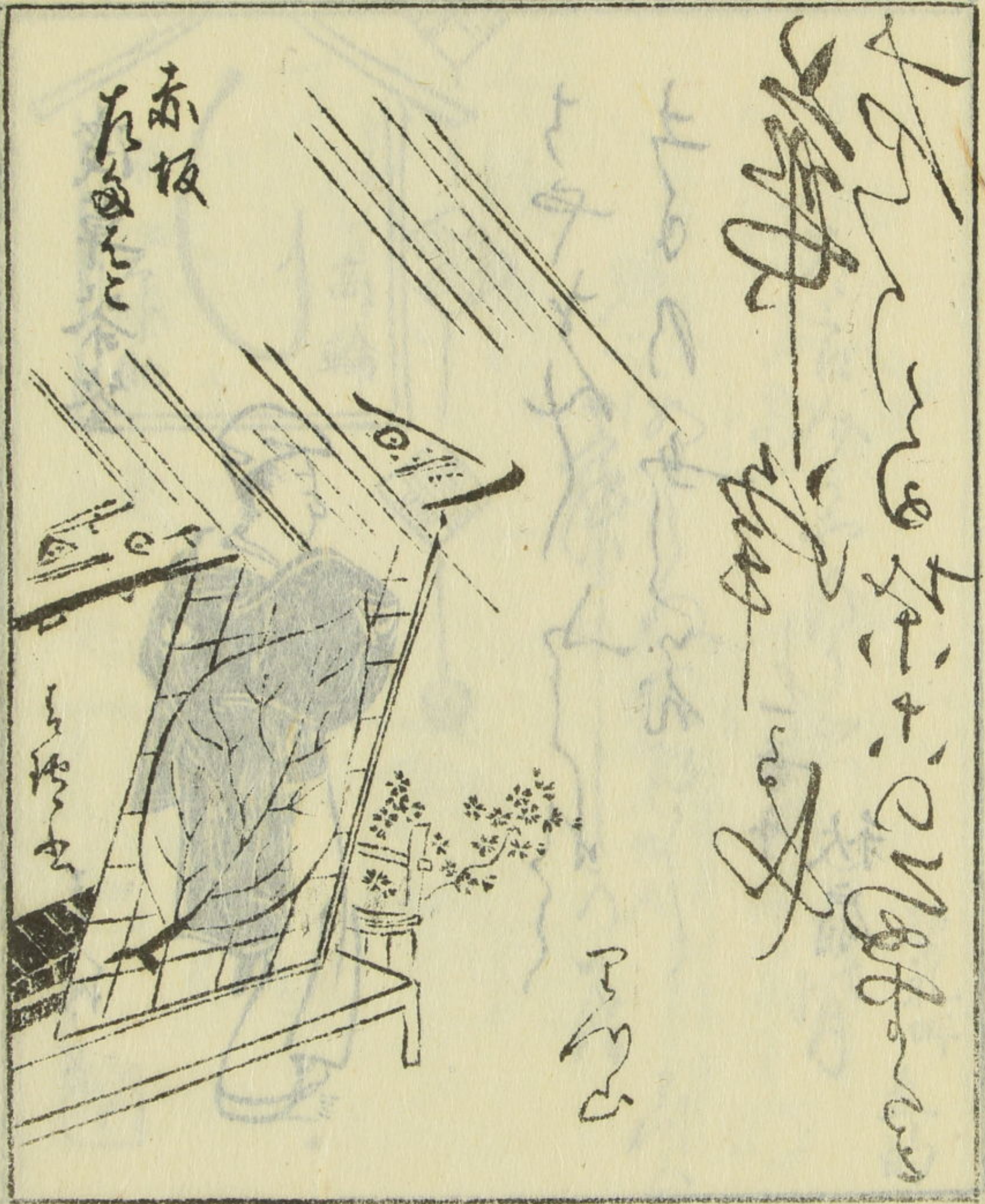
金龍洞人

堤亭



8

中世二



赤板  
 左の窓  
 赤板  
 左の窓  
 赤板  
 左の窓

赤板  
 左の窓



赤板  
 左の窓

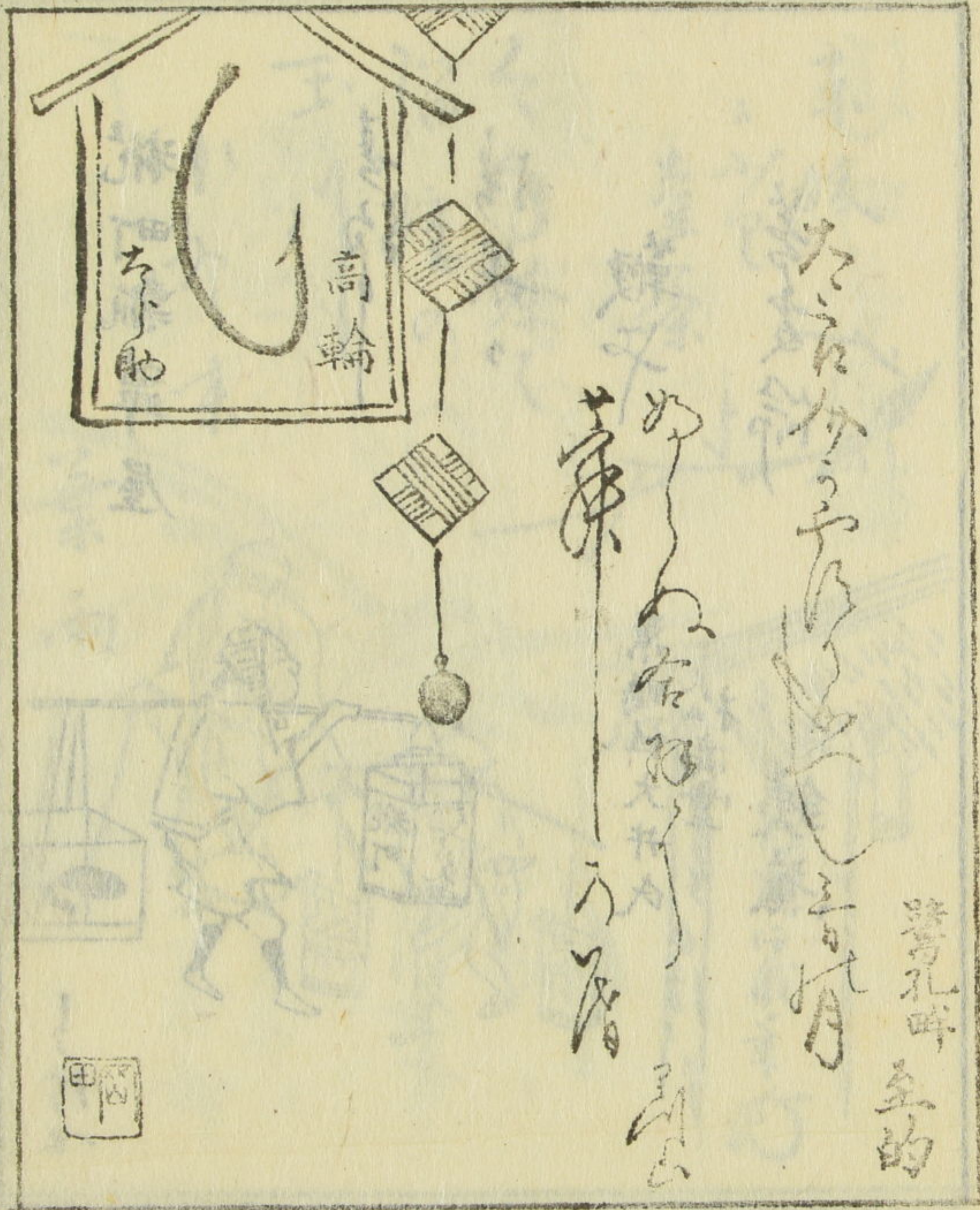
赤板  
 左の窓

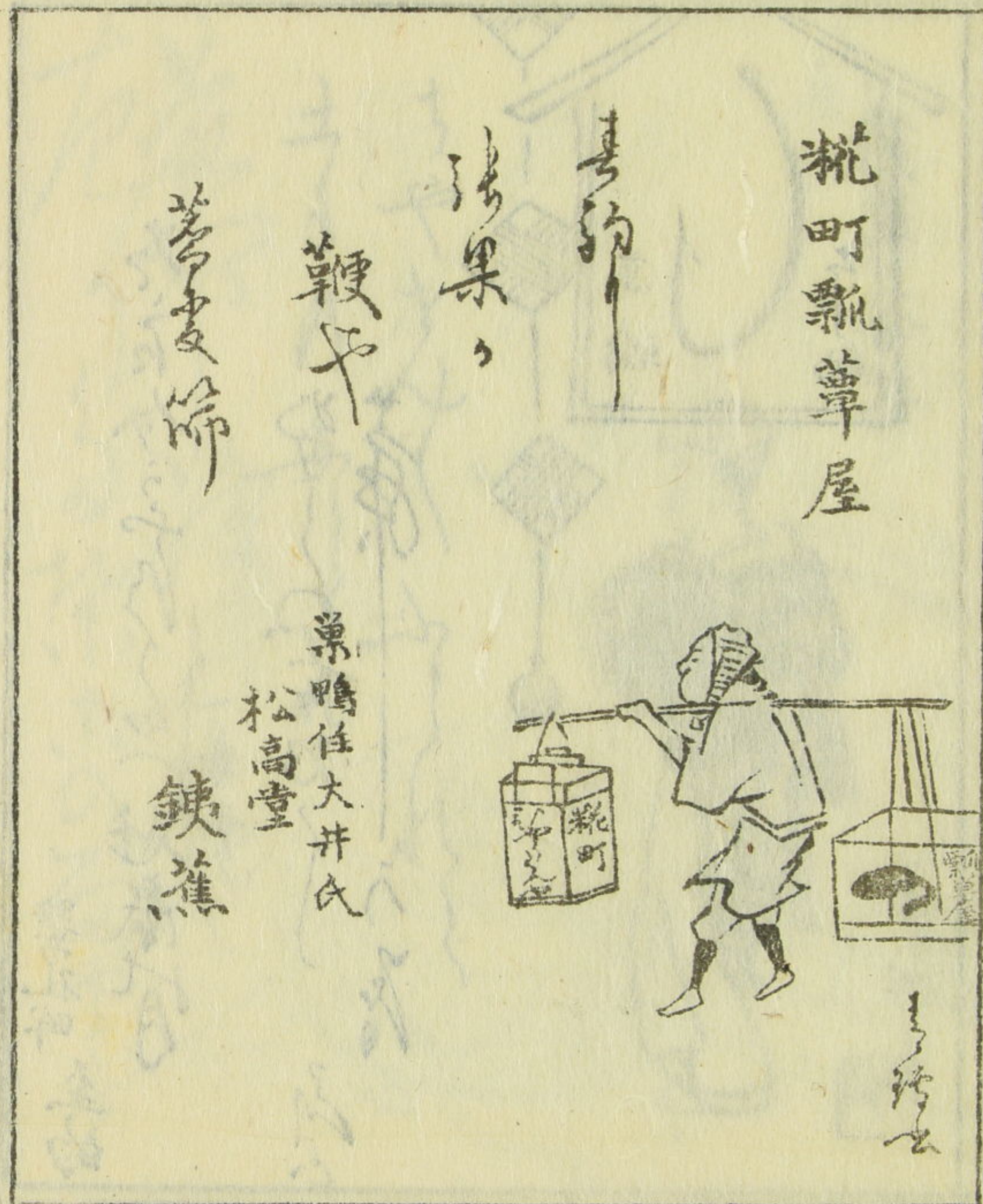
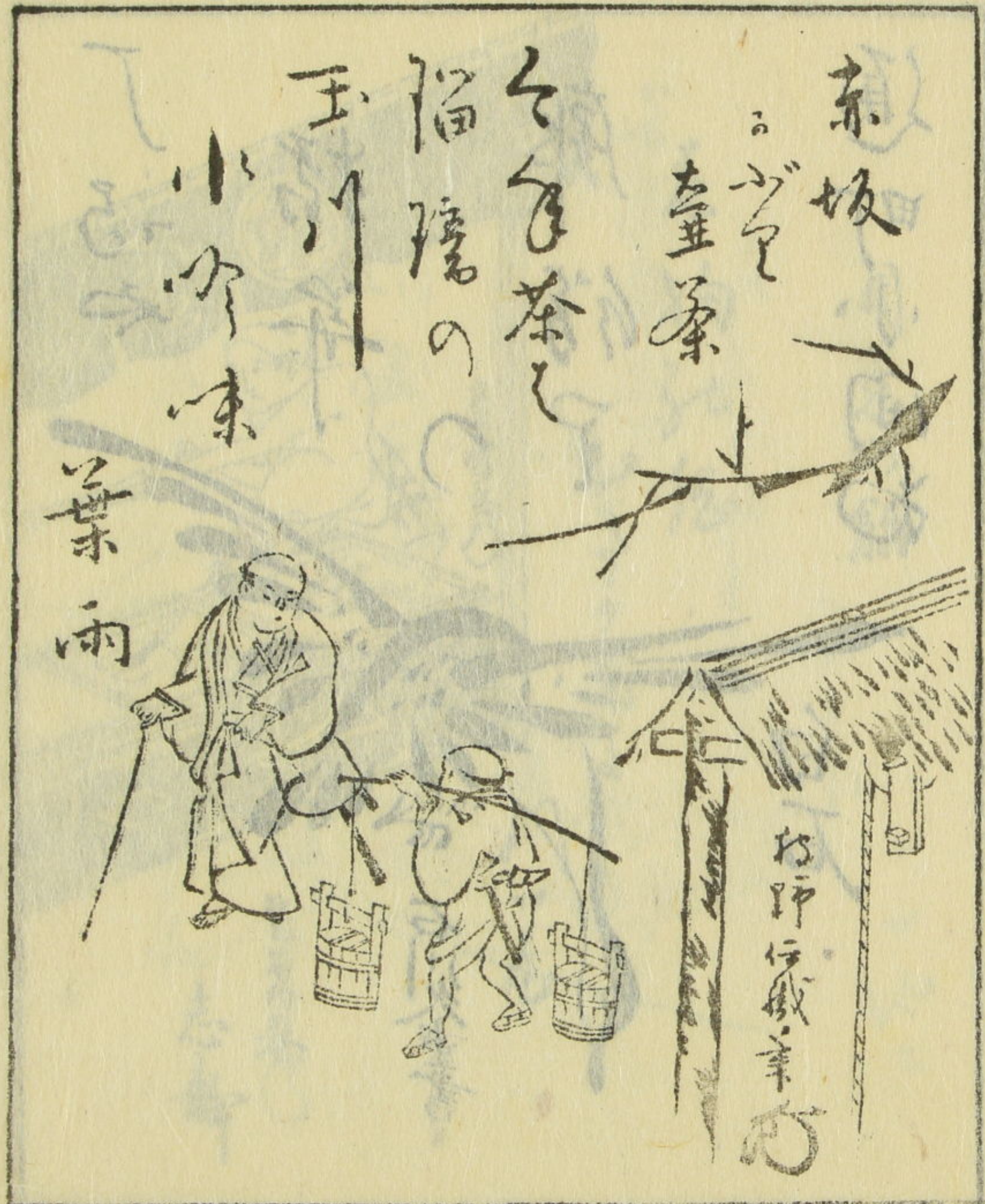
天台の花袋

鐘撞あり

又鱗

赤板  
 左の窓









芝肴

其草乃

中在

月

外

壽鶴亭

高江



一也

約込

富士

堂

内

水巴



音

子

庭

富士

通

くさくさ

きりぎりす

天満のや

ささや

河乃市乃乃乃



砥解

芝  
地ノ編

くさくさ  
かきかき

水

角所  
解

売の編せあく乃  
作まよ香の味

傘車

回所  
多

回所  
回所

水

井  
火

船  
船

和

狹尾湖  
新  
うらまのうらま  
なす狹尾湖  
長鶴

池端  
池  
香葉  
那古  
蓮  
芝英

捷玉  
北神  
阿古津  
ふてかき  
那古  
貞實

深川  
鏡  
お古  
お古  
撰居

三子  
アキ  
化  
兼  
大香

兼康  
中  
幽  
幽  
珠水

朝町  
皇  
中  
布  
規跡

戸  
中  
子  
末  
風

心  
 予の業紙自まの成せよと強て  
 可やせしむるもたうしくてかありハ  
 下  
 十れとよの酒を求ふは  
 天代や老来り一花乃咲あえ  
 角上  
 名はたさる子業此すなれらるが  
 史ふあ有力ありて  
 名物に加ゆるとのえ



赤井得水

遵業紙あり

露月

豊前守 地水と筆

豊嶋治左衛門

蛤乃

春

身小りり

謡初

販青壚



